

発達には個人差が！

今、つたい歩きをしているなら、自力で歩けるようになるまでは、もう一歩。じきに、はじめの一歩が見られるはずですよ。

発達の振り返りを！

これまでの様子はどうでしたか？
・首のすわりが遅かった
・ハイハイ（いろいろな這い方があります）をしていない 等、歩行のために必要な発達の過程が見られない場合は、一度、小児科で診察をうけてみましょう。



相談事例 ② 歩行の遅れ

うちの子は、1歳3ヶ月になります。近所の子は1歳前に歩き出しているのに、うちの子は何かにつかまらなさと歩けません。このままで、大丈夫でしょうか？



慎重すぎるのも要注意！

日頃、周りの大人から「危ない！ 危ない！」と言われ続けているために、一人で立ち上がることに危険を感じ、怖がってしまう子どももいます。

次の段階に自らチャレンジしている子どもを励ましながらかみ守ることも大切です。

動きやすい服装？

服装は、歩き始めるのに丁度良い状態ですか？ 動きやすい服装でないと、歩きたいと思っていても手足が動かず、歩けませんね。また、寒さを心配して、厚着をさせていても動きにくくなってしまいます。

一人ひとり違います！

「早く始める＝早くとれる」ではありません。失敗しても叱らないでください。

ママだけ頑張らずに、成功したら家族みんな喜んで、みんなで子どもを褒めてやりましょう。

うんちはどうかな？

子どもが便意をもよおして、いきみはじめた時、「出る。出る！」等と、大騒ぎしていませんか？ 子どもは何か悪いことをしたのかと思って、出せなくなってしまう。便秘を引き起こす危険もあります。便意をもよおしているような時は、さりげなくオマルやトイレに連れて行きましょう。

相談事例 ③ おむつはずし

3歳になるうちの子は、まだおむつがとれません。友だちの子は、1歳から始めて半年でとれたと聞き、いろいろして子どものお尻をたたいてしまいます。

タイミングは？

おしっこの間隔が2～3時間になったらはずし時です。思い切って、始めましょう。



快適すぎるおむつに注意！

最近の紙おむつは、本当によくできています。おしっこをしてもあまり不快に感じません。ですから、子どももおむつにわずらわしさを感じることなく、放っておくといつまでもつけっぱなしになってしまうことが…

おしっこをたっぷり溜められるからと、子どもがその重みに耐えられないほど溜め込んでいませんか？ 溜まっても平気な感覚を覚えてしまいますし、何より不衛生。発育にも影響が出てきます。

子どもの様子に気を配り、はずし時を逃さないようにしましょう。